秋の沢集中谷川岳集中登山　白毛門沢

2009 年 10 月 11 日　　曇りのち冷雨
河崎、平本（Ｌ.記）

　今年の秋の集中として、谷川岳ということになり、１０月という季節から去年計画倒れになったこの沢と、東尾根を望んでいた。パートナーは河崎君である。彼は私の気持ちを知ってか知らずか、同じルートを希望してきた。私は小躍りして喜んだ。

10/10(土)
前夜に河崎君と落ち合い、入渓点の広場で仮眠する。夜半すぎると次々に車が入ってきて騒々しくて眠れない。
10/11(日)　冷雨
　前夜から雨が続いている。早朝から登山者がにぎやかである。皆、カッパを着込んで白毛門に向かってゆく。
我らは様子を見た。沢とはいえ、雨中に入渓を始めるのは好ましくない。
雨がやみ、雲が切れ始めたところで入渓した。まずはいくつかのナメ滝をすぎるとハナゲの滝につく。水量も多くはないので楽に越えられる。再び美しい渓相となり、東黒沢と二俣となる。
左俣の白毛門に入ると、小ゴルジュがいくつかあり、高巻く。易しいが足下には十分注意しなければいけない。
次はいくつかの直暴に出会う。いずれも直登は難しそうである。大滝なども見るからに悪そうな様相で立ちはだかる。
高巻きはほとんど明瞭な巻き道があるのだが、一カ所、藪をこぎながらのルーファイで本格的な気分も味わえた。
直暴帯のあとは少しぱっとしない上流部を過ぎ、いよいよスラブ帯に出る。
紅葉のスラブ帯をヒタヒタと登って高度を上げる……と言いたいところだが、寒さに参っていた。気温よりも水温の方が温かく感じられるほどだ。
スラブ帯も難しくはないが、スリップ厳禁。注意を要するところである。
山頂直下の鎖場下に藪こぎもなくすっきりと詰められた。
あとは寒さに追い立てられるようにそそくさと下山をした。

この沢、入門コースということで、期待をせずに入ったが、実際は多彩な非常に楽しめる沢であることが解った。
よく注意していれば危険も少なく所要時間も短いので、今頃の紅葉期はとくにお勧めできる良渓である。

10/11　白毛門沢出合い 8：30～稜線上 12：30
　　～白毛門沢出合い 14：30
地形図：水上、茂倉岳